史上空間の問期的議會とな

戦時金融に大御心企業整備に大御心

しては資産消産素により、かきましては一般関になってをからまするが、小淡なほ企気をほど気が、小淡なほど気が、小淡ないでは、

決戰食糧態勢全

戦級勢の整備確立を期するとと

く配力の飛流的均頭、関内

養員長に 林博太郎伯

全院委員長に徳川公

に到する密國の建設施策を闡明、

決定姿姿したが、さらに配力増强

提出すべき十八年限追加強算案を

みで通針六十億回見強の巨額に上 り各契約間の重視関係を考慮して一十五萬圏)

強盛において第八十二個時間曾に一要求されるものは企調整輸開係の「無点信託」 政府は十四日の定例、しかして鞭党が契約として新たに

比慮など大東距共柴園建設の遊覧 と、もに中華民國をはじめビルマ して必勝の決定と態勢とを固める

師議を提中し難國一際官民相協力

道は殿會職員の任期延長の三點に

決版態影確立方策に即應する

通計六十億の巨額

豫算外契約諸件決定

期的規模を反映

万策を中外に闡明して際杀蛇の世 Pに、特國の数字たる大単龍建設

関の野国を破罪する副則的議

て大泉亜共榮圏内はもとよ

「東京電路」金融調金製造の大学 一個委員は、大吹台三男(公正) 公正と各部は委員は十五日の各職「な母優交委員會正備委員長は元の 交渉會の部界。前回通りとなり、 委員 長 林神太郎伯(研究) が公司を持ち、大学では、大学のでは、はいきない。

なく明示せられる

の階越形方策は護會劈頭より道像

・ 抑的規模を反映する策頻外駆終の ・ 地定され、今次政府の関象性と職 一

うちわけは左の如くで一般優計に

會は十五日資級開院とも成立を「亨・野頭鬼嫌質相は黄灰形とおけ、関節の影響を突跳して歌声まで前、武士とも対すましたりから、東京能蔵・木管春の決較医療と ちょうて紫色一致ログノで的宮」とは別家真宮に開催、歌画を開始し、る歌廳を開始し、今期館宮の三大がため召集された第八十二殿時 を持つて午後四時ごろ木宮部を附 負担に「郷に開催、歌画を開始し」る歌廳を開始し、今期館宮の三大がため召集された第八十二殿時 を持つて午後四時ごろ木宮部を開 負担に「郷に開催、歌画を開始しる歌廳を開始し、今期館宮の三大がとの召集された第八十二殿時 を持つて午後四時ごろ木宮部を開めるり、「東に開催、歌画を開始しる歌廳を開始し、今期館宮の三大がとの召集された第八十二殿時の一次により記録が出版の影響を指する歌画を開始した。

- 1999年皇帝に皇を居に宗け、國民の総憲を反映して深連忠で訪ると同様唯政方針演説を行ひ、つ 陳を遠行

る企築の整備、農水蔵物の増産確 眼目たる威力増強のための版孔な 同開院式場に親しく既御あら るが、既くも、天皇陛下にな

院に行率あらせられる

職職長に無謝仰付けられ同十田、佐々木、内ケ崎貴衆南院正

せられる御豫定と承る・

直ちに本會議

、内外の

決戦施策を闡明

質問も重點

前上され、また開鮮米級市場會此一 および各垣都転株式會試など中央 地方都級統則會社の総合によって 2

て銀道省所優の以上のほか年機級道特別會計とし

|面の刷新理化により著しく促進せ

微炉災 無 進 軍 統制會

隠する生産の飛網的埼鼠は勤勢部

一茂的がそれぐ、計上されてゐる

【泉京電話】貴族院は敵密多年の一

切これを難け質問も重點主流のため原樹を深すが処式関問

強の必然態感を頭化すべき面

大使命を輸びた第八十二 場において履搬に銀行され

天皇陛下にな、この日隆虹 でのまに、大皇陛下にな、この日隆虹 でのまに、大皇陛下にな、この日隆虹 でのまに、大皇陛下にな、この日隆虹 でのまた。 でのまたた。 でのまた。 でのまた。

御先源にて一旦便敷に入御、 御先覧の各量炭酸下に御謝剤 あらせられ更僅ご相以下各場。 あらせられ更僅ご相以下各場。

十時四十分宮城御出門、貴族の昭式自助車樹澤にて午前



社報日城京 **算**套 mga 九歸還將軍

世間で、明和の協選をした寺本館市 世間で、明和の協選をした寺本館市 世間で、明和の協選をした寺本館市 世間で、明和の協選をした寺本館市 は、歴際別学本、高概を第二、

られて入御めらせられた。 出御、九将屋に親しく理説仰付け 過ぎ相ついで宮中に勢内、脱くも 受し、恐懶宮中を恵下した。

御紋附 木杯一組ならびに 金一對 脱名をもつて懸誤、高陽隅中將に つをそれた、下陽あらせられたを、五少解には領級附不杯一組づ

を附近報識すべき特別委員會は左 【東京電話】貴族院では各職案と 四つとする方針である 企業整備案關係(委員二十七

口午前十時より期かれた数政議會 かる名は委員長の候補者は十五

長候補決な

貴院の四特

別委員會

3

なほ各華常任員のうち豫策委員會 一、公位领行菜的よび哈海坦所管、特別會时案關係(委員十二名)、特別會时案關係(委員十九名)、

食園 均產家 關係(委員十九

学館の観天も旅殿士にまで凱緞、 とかり選兵を生む歴織であるから をかり選兵を生む歴織であるから 小磯総督は十五日の定例局長會議

總督訓示要旨

十四日水原で盛徳勤勞を融祭し一

がこれも頭外の能率に頂きを置い いつたのでなく労働を通じて把

のばかりでなく、内地の機関も動 員、協力せしめる要がある語を途 く、生極地観と動する管話のより

經動必要で、それには半局内のも 各種取力物質の緊急増産を図るた際成する要あることを理解、更に

選道の際得であり、日本精神の徹 変こそ重要なのである。一部の學 生にモツコのほが少いと注献した たが、歴生の勤労率仕に求めるも つかり足を踏みつけた断機監査の るから、朝鮮の以天も「陸士」に ある、瑞穂の奥日本の選挙は彫倒に於て重大なる教験となるもので

創九時より第三會議室に開催、先

各局長發言

について の質疑動 解析の際田

南方圏綜合講 **州立東京商工獎勵館編纂**

| 本語学 | 本語

進 研 肾計算型 二三二一 京東華 報

5 明全二卷

の辞事血は。題らかに理

◇規則

入學案

足(備考)

講

判任文官機科

に對する所處を述べ引題を別策

四、败府特殊借入金值入部区位签据, 等级借入金及了特殊金数位面 拉,特殊借金及之时转级金融后和 拉 按规律总及了特殊金数位而 经 经规则指失 相极及び利助五亿人 近の附者の役割を製すべき場隔と 整備に置って整備を断じ続する補近の附者の役割を製すべき場隔と 整備に置って整備を断と続する補 おける盛業設備登盟と國民更生命一があるが、これは地方競道軌道の 新設される朝鮮食価整國に對する

に関する法律家はか二年 | 10世代名前総方台流線に対する殿| 切ごれを乗げ範囲も重脳主義で行
変。 貞、長、高雄・守年 | 関はこれを行はず、すべてを強緩。 はたずであるが、第八十一統領に
変。 貞、長 大祭(女子) 高雄・守年 | 高級・守年 | 高級・守年 | 一般に見差が疑問を行うた正に選出機
変 貞、長 大祭(太夫) こだなったが各公員會とも短期間 | 間を配める意味である
本祭(太夫) こだなったが各公員會とも短期間 | 間を配める意味である
本祭(太夫) こだなったが各公員會とも短期間 | 間を配める意味である 明院高衙門所管に膨するものであっきに特別會計にあっては大部分

四刺令閣議決定

勤勞緊急對策一應完結

日興醫祭 日本勘災闘祭

・曾の城鎮身 村 旧

小泉紀也、羽

(二) 金錢假務關磐招失補質廿萬

四萬八十四) | 特別回收の律所として五百萬四かの作所をして五百萬四かの作用と関係の表示の情報でおける金融を対して金融を表示のである。このほか婚親における金融を対して金融を表示している。

窓に関するものに、 脚木、 腕工三省所

企與整備補助(大廠、處林七

四 欧正ならびに際正に関する頼令祭の - とづく國民領用令以下五朝令案の - とづく國民領用令以下五朝令案の 就梁時間能限令歴止に属する勅令要納を決定したが、そのうち工場 を別し政府は去る五月廿四日の総「東京吃品」決版測勢機制の確立

しかして慶饒の四頭令案に配て」による社長の徹用が蟹座されることなった。 も来月初め場には既正園民俗用令 窓はすでに十二日の閣議において 正式決定を見たが、十八日の官報

脚本盤 川島騒體察

野村語券

共同 瞪 赤 小池間

指定業種職種

せず過つて七月中に別表として告 回の同施行規則中にはこれを規定 於京電話】勞務調整令中歐·

っては約年ケ年間程度の裕原を置 民の自後的協力になっことゝしで 朝鮮中語核豫防令內改正制令 定の件の解析を出生検疫場官制

制由改压

號 月 六 銭〇四·價定 行發礼開新日朝

航南 空太 戰平 記洋

一、朝鮮自動車交通事業の 正側令案 工側令案 の合中改 常田改正

*

は郷軍線閣機隊が十三日敬また京 | 午後四時から西門貨幣級県後にお「ベルリン十四日同盟」 郷田常局 | 直ちに〇〇部隊にこの旨を申出で

獨、ゴ市・サ市を强襲

・國府政然参加式を行うた

カスミ腿前に虫が飛い線に見え片限を脱球の親力が日を破裂し根球が石の卯く不治と諦めた眼病に 光白青ほそ 比日日

代理店 小林・丹平・高祖 眼科 專門 藥院 **獲財劑 三頭間 力**

張聞中部地區に任つて抗駁を總額 大同十五日同盟と支那事を以来 李遊擊隊司令 一般 見る後の

であるが、右機類の決定に答う 数がその認出の大半を占めるの

ほかは今後で

上級関を如何にするか、

に意義あることといはねばなら

の弱力機関に極めたことは大い

行に移されること、なったが、 に法言案の最會通過を以って変要がはこれに必要なる豫質案的

> 上にある朝鮮工業の現民階に於 で行ふといふのである。

> 發展金 むを得ざる必要限度の企業 まで維持賞成の方針で臨んで來

> > 中小院工業に対しては胡餅は従 十分であらうと思はれる。たい

注目すべきことであるが、盛し

かくて総督府十八年度総豫祭は

によって半島に於ける企業繁備

とする産業物資盛園の設っなど

後出の統領ある際系がこくに整

技権の國家管理強化に伴ふ路響 工六億一千五百萬個の巨額に達 原四千四十一周四千四に及ぶが

補給金が一般追加豫策から一 目に関する。眠ち頭紙における の方向が明瞭となったことは注

聞へは貧機酸物の競行を如何な るだけの構へが出來上つたこと 備され、かくて影館朝鮮として って生命、供出、配給、預費、 増配に対する積極的施設と相俟

になる。ただ監督の通用方針、 の服房便命を遺憾なく後押し得

解を組に

さきに関題決定せる企業整備 方針轉換 企業整備の

た中小院工業に対しては真

るといふ比較的微温的な方針で ひつくこれが敗骸波肢を企闘す する劉策は金統野館の精神に沿

り、懲留府がこの維持育成方

題るが、この感謝は内地の産業 表であり、これへの批判は後に

の設置である。この内容は未設 不能統一千萬圓の産業物資常園 をかけつ、この完成せる作品管

三千二百萬函の國庫文出となる

哲向所管の各追加強な緊迫に関

本府追加豫算ご兩營團

一酸せる総制がこゝに質別する

相當大きく月つ脳い影響を興へあるが、實際はこの週用如何が

設立など半局に於ける食用の図

家管理協制の完成がこゝに明確

温味するものであり、他面食料 に於ける食糧管理監制の完成を

の連用方針如何に多大の

るものであるが故に、この際で

行すべき追加豫頌また文字通り意味座であり、これが施策を終

が温加豫質の競表廊に田中政務事であつた。その企実展備方針 きであるかいわれらの頂大関心

でる主題は成力増強のための緊

既民として、これが歌舞實行に

整備すべき対象が少いのでその

質であらう。従ってこの版に対 れてゐないといふことは全く事

可趣の情勢に置かれるに至った

限度の企業整備といふことは のである『風に巳む得ざる必要

とも観瞼の餘地なきところであ

描し皮含ところに及んであるこ

れる場合には恐らく階種の困難 度としてこれが方針の具態化さ とを示すものであるが、實際問

に返出するであらうの総督所は

であるが、宏心それだけ頃前の

窓 不可談なもので ある以上

機能のこれに関する談話によっ て明瞭となった。 町ちその万針

据を目的とする企業整備の除

収出來ぬほどの凱臘狀態に陥っ

るることも事實であり、

が今日の現状は最早やからる温

主義的育成のみによっては治

く迄、朝鮮の特殊事情に基づい成するものであるが、それはあ

たものでなければならぬと思ふ

た。追加豫算援出入総額は一

針、企実整備、金属回収を目的

伝導家が決定、十五日磯家を

◆木村返一郎氏(日本館用品機制 會社及長)間記文店を京原に設 歴したりを接換の大め深油 を山智線版氏(国社院群文店長) 一口上 ・野村協秀氏(副韓洋行場勢) 十 五日午的人権日十五分録約十日 間の豫定で収付江方面へ出襲

☆山本元帥を憶ふ…四中 忠明一太笑ひ *座談*子供の世界・原語・上海線二・佐藤 正願

實業之日本社授業之日本社

和四条

で二、三千人の他西戦に従事する法の健康排作によれば、歴民一人

を除き調照、決為、感謝、資格器・査の四季異會は事質上開宿せどる。意向である

戦力物資増産と

農士錬成に努め

ては他能認後がはへの食糧供給力

の諸問題の解決については、時が

施行連問

座解開

胸なる民

式新長 期 新

機

械

章シ ○ 図本巻 ○ 図本巻 **準**始 九三町木種野上 図谷 下 市 東 院・ 夢・ 合・ 結・ 関・帝 香 ○ 一 大 図 カ 一 京 京 春 宴

がは那大

長距離通信教授 帝國 綜合 學 院最 新式 講座 開始

展をはかりたいと思ふの健性な強

米國の機能力を使用せる大震場でこれら質型交流の開鍵を重視せることを配みために個ならない。はもとより内理機関の概数をも得越すべき日本新聞の融解に優れし、である、朝鮮に於ける官民の機関・

芯喰虫の被害について説明。 を開降林島長 京城附近の赤

本金一千萬間に對する總管府出費」といならう、かくて決職段階に助

関内各層の徹威者

55

事務分擔の

造脱す 自分にこんな强い力があら 者驚嘆の書!(公爵一條質孝問下題字)

6

◆別にクロース装上製作ありし

道

部本

眞

天 **區**川石小市京東 一十四の一町柳青東

所行發

京東座口替服 番六九五五六

所扱取

大東亞航空交通舞

いて昨日参内炎上申上げまなべき追加後算案ならびにを案盤備資金摺盤法案につ金架盤備資金摺盤法案につ

したので資展緩相は極んで率の二點につき特に御言葉を探 他資金金融部面に支端なきや

関くも 天皇陛下には企派整 配法級につき、上申上げ

は年前十一時期院会が取行 日は年前十一時期院会が取行 られ、引鐵書午後曹操祠院と を組織を明ざ即日政府提出の では、10世紀のは、10世紀のは、10世紀のは、10世紀のは、10世紀の

臨時議會に提出すべき追加像 延齢叩付けられ 郷八十二

藏相恐懼、謹んで奉答

十五日午後一時次の如く諏訪

衛に伴み聯盟気者の生活およ。 金融の連盟、公園の海化その

賀屋滅相謹話

常上市票なる貯河の境限に の消化その他最時金融の連 の消化その他最時金融の連 が大しめる旨、また後段の できましては公は **前般の何言葉につきまして** 室葉を押したのであります なぎゃの二點につき特に问

上区伴うた石管九四の神鈴金閣院 したが、同時に登録時館政務策と して米穀の貿入質整石當十二回引 して保穀の貿入質整石當十二回引 二百四萬九千二百回中に石宮二面と見出した、東之種給金亥出一版三千一四三十二百回中に石宮二面と見いて、東之種給金亥出一版三千一四三十二百回中に石宮二面と 質指域を調するとともに直接増 月一日から資施するととし所要 日 紫瀬三十九萬二千五百圓をもって 2 紫瀬三十九萬二十五百圓をもって 2 紫瀬三十九萬二十五百圓をもって 2 紫瀬三十九萬二十五百圓をもって 2 紫瀬三十九萬二十五百圓をもって 2 紫瀬三十九萬三十九萬 十 加へれば六百萬圓見當となる。 淡い 斑粒の半額を観数が真臓する、同 こ 水魚増殖試験補助数一萬七千五十一しすでに成立した食糧到策施設費

層所は食物の國家管理を本年十

を政府が天明し増盛に支出するの

本府の増産施策費一

億圓突破

本年度新規增加級七千四百七十

て つて真樹せんどするものである、 り の 一回、 松突神経験自由・七萬一千九 一本 神上原質器の充綱を半瞬國数で見 戦力 () が () 一般的熱質がいかに熾烈であるかを 對策強は一艘囮を超えることにな 質行とともに完成したといへよう 物脳るとともに一合いの手を打つ

十八年度に新しく施設される地陸

車需工場を强襲

逸。航空機工業

海軍落下傘部隊降下戦闘記……※ 邦三切 迫せる米本 土 爆火 ……高久 昇 大佐軍

耕作法の改善から村古來の美風で

た家族的農菜經営にあつたが機械

夏面目な青年 を納合し

家族の勢力を中心とし

百國の観況に陷つてゐた、そこで

慶北班員の活動ぶ

ŋ

- 3

心の實践

[四]

婦人錬成會等 で

ける福津課長、中島村民を中心と

と殴ってゐた、この村が数年前かことが最國際民だと感得しました

い歩みを歩むものであって、

重つて各隊員から感想と午後一時半からたつぶり二時間に

つたが、人村一週間後中国村長が

利用してゐること、この村に來

爲に生き、大東亞戰爭に参加する

に新しく楽えるのだ▲釜山の紫番 の光気を燃ふのである。即ち、持つ 活は無くしてもその日から國家の

するのとの

同行する便宜を得たが修練宮に於 —と合攀してある姿を見たとき 質の状況融級に行く日だつたので 」ふもお勘をもつて無事に解けます

【東京電話】政府は錦、鉛、距鉛】 にも特別措置 資材、輸送力

たともいへる。日本曖昧の良さは一少比忽蛇の中岛氏が村長に東任

し提出、朝木社はこれを組

に迦倫職を新設すると共に本府・郷江間の支援の下に原原的計畫練塾質施要酬を作成,ごれをと変謝して質慮されてゐたが斯くて京鑑を隠籍の不聞題を来すこと、なるので鄭木批では批内と変謝して質点

| 選手形変換高は校盟三萬七千九百 | 千六| 一十六 | 三百

六百八十七回でこれが前週交換高二枚、金額九千六旦三十四四二千

を含して強でから朝鮮戦出の技術。下八級医、加瀬州軍および強區四日本郷金脳の若本と超常化の技術。一下八級医、加瀬州軍および強區間

一方式を採用し生産能等所上に関係した

一業整理統

のふ朝鮮經統協力連絡會總會

の存機的影響に表と做くる所あり、要應問題として後來を報合より直接航車要求その他難試局、木稼融郵週悉要観に基く計畫輸送に現行法規においては確認主鑑だる朝木配と名道機能組合と木稼融郵週悉要観に基く計畫輸送に現行法規においては確認主鑑だる朝本配と名名道機能組合と大稼転費の鑑録行購の定めにはこれが重點主義による輸送の計畫化が最も懸念とされてゐるが

でした変型記して止ぎない次第一の研修によることを要認して止ぎない次第一の研修によるが、 取締哲能に対し、内の理と対に、 でも がまがら、 のがまがら、 でものが、 のでもるから、 のでもるから、 のでもるから、 のでもるから、 のでもるから、 のでもるから、 のでものできません。 できる

員法に据く動令『政金統制令』を

において審議中で「転令と同時に

【東京復語】政府は決職下生職の一する倒金支摘を容易ならしめ生産

増强に資せんとするものである。 しかして右勅令の欧正に伴ふ施行

生産能率向上が狙ひ

【陸位】▲百圓加华縣外西面別 國防献公

輕金屬工場建設

旭電化兩社首腦部來城

行総額制限方式に代り摂金規則お 産業に脳する特定事業場に對し現

行政環境の開業化のため改正さ

の発売の

蠅取粉

泉城府内のどの器に位

お國の爲めに此の命をさし出すっ して頂いてある私共は、いつで

もりです」(銀羽は日本文與報酬

陣頭指導者

よび昇給内規の認可による新なる

木材計畫輸送實施

京城卸賣物價微騰

賃金統制令改正

本社會記憶

株式市況

(社語)

投資も絶對決戰型で

時局里路會社の生産力を我等の投

券證田秋 五五一五②表代記者

朝木社に運輸課新設

職場精神の錬成

選法精神の陶冶啓窓に努め、決威ため一数第名の時局認識の徹底、 經濟統制の健全なる地質を明する

押満了を機に崩退することとなっ

經濟の確立を中合せて五時過ぎ間

殖銀異動

小計【國防航金】▲水百一團五 拾四錢 累計【國防航金】▲九十一萬參

日銅日帝鎮三郊銘 石管立新新工新柄

めることを示し、その直観節明な

買って帰りたがる人への一つの 田舎にあるものなら、何でも

でいしになってゐる間に、鏡のでいること、鏡の

戦闘にはならぬだらうか。

見た時、こへにその最もす

總計 百十五萬一千九

鑛山選鑛場事務連絡會議開催

那事職前山東省方面と交易のあつ

午後三時)輸送力増弱のため七月 日から短區間の支級列車および

國民後職についで、十七年度決算

その他事物的方面よりする総彩館、が、今回關係質品協議の結果、支頭麒麟諸振興では職場新郎の錬成、躍上総第を確依なくせられてゐる 上により重要職物の地蔵を押し第

倉氏の画の頭に米 朝面議總會

食用鹽確保

ず、その不足額は大東面共衆國内

京城橋磯第一台職等で臨時総合を朝鮮同様では十五日午前九時から

一時五十分散會、 學國 なほ単要類物非常地産弱調期間質施要網は午後四時間報局より接表された

月より一

一ケ月間

間期調强

る所管単近に関し報告部所を求め、可続き総合過報に関し、各関係より種々意見の交換があって、り重要職物非常州帝張國期間重加要側につき説明。これを決定、ついで八田郷相より輸送力組化に 【東京電話】十五日の定院閣議は午前十時上り首相官邸に開館、東條首相以下全間僚出席、

【東京電話】十五日の定例閣議に 鐮物非常增産强調期間要綱 のためとくに一定期間を散けてンガンなど印要嘘物の増産確保

重要鑛物

常非

決定し、ちかく(館華を繋ぐ双克・等車郷語を繋がすることとせり、た刃鬼を積極的に利用することに さらに特定級の一定延順につき二・近郊鬼を積極的に利用することに さらに特定級の一定延順につきニー・ 一部頭所軍の一等車割割を繰止し、 | 改克の復荷としては吹、枕木、果 | を全蔵せられる線區は伊東線熱海 原省の各職田で生蔵する天日職で この我党により輸入する既は山

| 伊良間をはじめ三十三級重で一部、勢し総間値から種々逸明があり、| 【工派十五日同風】 郷・数重し法 | 興長代加龍 | 本金版せられる線區は伊東線機線 | 更に協力の最出の左記希望の頃に | 華(数道) 副総(数更)法 | 興長代加龍

報告のへち、十八年度豫領六萬六(六萬三千八百四十四三十一銭)

和合、任意組合での他 へ

を勝つた屋台骨が

ため昭和十六年以降毎年顕物均面 かりでなく、生活を見失ひ、甚だり武士。といふ時間を無くしたば

概を了つて応らうとした時、そこ 『私共は死なねばならぬ人間です。 言葉の一端をとくに選ぎつけ 全く無適の皇際によるもので

活は、150mの動物質(加治時密)戦み 潜水艦(佐藤マンガ)マー坊の 潜水艦(佐藤マンガ)マー坊の 潜水艦(佐藤マンガ)マー坊の 遇白系の京成野切で次の各社新 獨逸音樂の夕城大器

は、金谷 原原の宮の古屋根のべんがあかと然の 自川 既然 曲目はグルツの序曲・アル午後七時半所民館で開催する 部では第十九回定期交際管数製の 『獨選習樂の夕』を十

漫畫映畫登場七月第 作品『暖き風』を練

でありますから、どんな実食やしていますから、どんな実食が力に乏しいで力がなく、腐は吸収力に乏しいで力がなく、腐は吸収力に乏しいがなく、かうしに人の胃袋の気が強さいからいますがある人、愛ら食りをいいますが 血肉に同化する期合がす

が出端に、そして、食べたものがよ が出端に、そして、食べたものがよ く血肉となるので、次第に動が火夫 になります。



にならぬば

てあたため内勢省で通検保留になく。が車前機保障の脚本と相談しているた大映作品『酸戦に映

なりとの理由か

が先決

| 上映番組も研り | 人間異變頻々

美肴も

榮養に

珍味も

彭 D 以

方が作

数紙法院復事なる長崎諸三氏であ

ではあり、早週で ととは勿識である。 一向に効果がない。

É

海原は地東約一月撤一回六十一級 海原は地東約一月撤一回六十一級 海市と「個二十二級・九回六十四級 東部・八川限口町近停側・二三 石 日本(領生物研究) 一部大川原口町近停側・三 元 東部・八川限口町近停側・三 元 日本(1000年) 一部 大川市・一部 (7338-474) 購入の方法 の地質の大利元山心を聞いるので、日本語を選択を指して著聞は文取してはいる。

自,六月十六日 至,六月三十日之 も二もなく頑張れ貯蓄 東漢朝朝朝 朝朝東朝朝三 安 帝 朝鮮總督府朝鮮金融團 大山作意表光而从消化定证。 用心色效应性的名字形成。 所以和分量的影响的多数。 所以和分量的影响的多数。 所以和分量的影响的多数。 所以和分量的影响的多数。 所以和分量的影响的多数。 一种的一种的影响性的多数。 一种的一种的影响性的影响。 一种的一种的影响性的影响。 一种的一种的影响性的影响。 一种的一种的影响性的影响。 一种的一种的影响性的影响。 一种的一种的影响。 一种的一种的影响。

の身代りとなって魔敵米災が即き潰して臭れるのだ『財務』は麗争し、低けぬ身を嘆くよりも財務しよう、公債を買はう『財務』は私たち恐を執って超つのと呼じも纏めないのだ はこんな安易なことはあるまい、私たちが問題することはそのまる武

さて何年 間ほど迎へるだって一年 いまと迎へるだって行くと假定して一年

谷戰役に見る列國の軍事費

ある、しかも之は無利子として

計 張するために自國の

撤給を推議す 対したのだから銀行預金にでもし るために國土を賭して戦争して來

- これが一躍団で 古来被多の國家が自國の正義を主 勝扱いた場合にのみ誤れることで

だ芝居だ、酒だといってもそれは

見せないものだ、以下は現在公表

の例でも削る通り、容易に内兜は

大な脳辺が消費された、どれ程大ことを知らねばならない、勝つた

18 活は正に地域に等しいものである

域がそのま、削損の損蝕、米弱の北洋に退なり大陸の威野に続いてる。

類して貰ってもピンと來ないので

來る、飛行機ならば酸台分だと計

きつた話である

て一年七ケ月)▲日本十七億一十六百四十四周三千回、日郷にして三百一萬二千三百回▲ロシャ十五億八千九百歳四、日郷にして二百七十八萬七千七百回

第一次世界大戰

後を維持してゆく一般經常豫算が あることを忘れてはならない、大

四百億回といふ四百億回といふ

れば金が必要なのは判り、耽酸の悲惨事を想へば物の数では、も行はれるだらう

勝ち抜く鳥の殿強闘選の苦しる等また國民生活の総てを切り下げて から戦争を楽権した國家はない、て受け入れて來たのであり今後もから戦争を楽権した國家はない、、て受け入れて來たのであり今後も

金を駅布に入れてゐて自由に傾へはなからうか、では私たちがその

十六日から月末までの向う十五日間に買って國民郷力朝鮮聯盟では全難一響に『十二

ってもそれが一般との私度の金目。回づつ消費し強けたとして紹久二って陥って来た、威密が緩かない。味において國民な苦然の負徴としておれた一般との私度の金目。回づつ消費し強けたとして紹久二って陥って来た。威密が緩かない。味において國民な苦然の負徴としておれた。

て七十四萬二千五百四(清國の

∞でイツ(四年三ケ月) 九百日数にして三千二百十五萬七百日数にして三十二百十五萬七百

けふ。必成期し總進撃

皮を一願してなば前逝、一定の時

てゐる、既對は貯置に俟つ、本年 日本は今一日一個個の販売で取つ一間化すると共に一旦四つを歴気は 度年間に質荷された貯蓄館は十二 勤勞戦士が示す赤心

道を賦得し日本料酬を厳選するの

しつかり踏みつけ脈傾斑質なる此めてあるのではない、足を大地に

述べる総督は瑞穂の國の日本

御伽在にわたらせ給ふ同宮内省か

月の熔線の貯蓄を實行しようと貯 とにした、まづ本月は少くとも例 ばしてこれが質疑徹底を期すると 1 の担成を闘るため左の五所目を指 (1) 対がを抑制している。 (1) 対がを抑制している。 (1) 対がを抑制している。 (1) 対がを抑制している。 (1) 対域がを抑制している。 (1) が関連の他 (2) を関行し形式上突の服管な機動 (3) を関行し形式上突の服管な機動 (4) が服力を接入している。 (5) が服力を放射したいる。 (6) は関連のが、といる。 (7) が服力を放射したいる。 (7) が服力を放射したいる。 (8) はいる。 (8) はいる。 (9) はいる。 殿下にはかねて御殿兆を頼されて 女王御分娩下 東京電話】竹田宮信徳王妃光子

組合員の貯蓄率については個的に 立して、目的達成を測し、その名 貯蓄組合毎にそれら、目標額を樹

貯蓄奉公に沸る

大百萬國である、京歌道では『十二六百萬國である、京歌道では『十二六百萬國である、京歌道では『十二六百萬國である、京歌道では『十二六百萬國である。 思るの中京機道負換額は三億四千 消性的終を徹底し進んで貯蓄質療

葉をむらためて、総督は既に宮

貯蓄映畫會【釜山】釜

底を闘るため左の日程により巡回

揃って色も生地も自由な國民服の

ある、朝鮮にあつても陰士にまで は剛健な精神を強ひ倒兵を生んで

りみて恥しい處はないか決職生活

下これを機管に開かに三省しよう

信々数のほかに原図版での時常額 密酬行を促し、代現金で買った図

の忠現に願へんと二千五百萬総

颗盟或は 愛國斑は組織的に 徹底 活の喧噪を励る、そこ 各町、里、洞、靴落、 一番の質行を期する 國債、債券全戸普及 **帰ち積極的な協力を傾けて新規的**

貯蓄組合の強化 以を强調して國際人物の全戸普及 い盆々その質質を被揮する、その

網をさらに徹底するため特に期間 窓時第四など、凡砂る機関を捉-思想振作日)ラジオ、髪関斑の の これに悲いて全職は貯蓄頭調行事

嚙みしめよ總督の言葉

學生の勤勞と交換嬢に教ふ心構へ

わが朝鮮でも内地に呼吸して今年の目標級を飛踊的に増加めた時間の民門と苦の増張に存する、本年度の貯蓄目標 させた十二億個に決定 震一震となっ 競表された半風の海軍志願兵制度 前には半郎の若人が布製の鑑を照一ち、朝の出凱際に《複示だー々と変響に、愛廼盛に、行の掲示板の一り出された、本暦に願く宗順生た

→ 人が發見すると二人、三人、四

掲示板の前にはたちまちに

と待ち遠しがる者もゐて、水漬くう吹し早めてもらへないのかなり

3

の募集要項

待て

りこの掲示

もの、或ひは訓練所入所班の來

十月上旬を待ち選しとばかりへも

ŋ

何々 みこむ のだ

て阪争完強に火の志さなった。

しかし戦時財政はその規模が飛躍的に増大の

っての一大國民運動である

日から全鮮一齊に火蓋を切り、二千五百萬、貯蓄に沸る懸鱗の

额は二百七十二次

にかゝつて國民貯蓄の増强に存する、本年度の貯敷は後をたらり、これには宣統の國際消化資金と生蔵力概定資金の確保が

九となる 十二億貯蓄强調運動がける 十六 憎んでも憎み足らない鬼畜米英を 叩き徴

定の貯蓄を必ず とする完全な星國民民の黙をかちに、空に、さらに海への强者たらん 得て感激に打ち聞ふ半島若人に、 このほど全鮮の街に扱示した、蛭

分についても開係方面との緊密な

を質行する、この根本的な質疑要 る瞬期を保つてなるべく高率貯蓄

み半局若人が人**埋を作って**待壁久



國民服の色は自由

は國民服乙號またはこれに巡ずる のに限定された、從つて現在配

→ 十五日阿火▲十六日郭州▲十七十日永川▲十八日郭湖▲十九日初湖▲十九日初湖▲十九日初湖▲廿一日初湖▲廿一日初湖▲廿

される、國民服の制式は去る昭和 機進軍だ、十六日國民服制式特例

【東京電話】さあー全國民男子は | 十五年十一月敷令國民服令で個定 | 來るやうにする販から國民服は當 要網によって男子洋服の新規比立決定を見た帳時衣生活削素化資施 されたのであるが、去る四日閣議 手持ち服の仕立直しも結構 分の間必ずしも茶棚色でなくても よいといる風に敗めざらに職時下

して融るの家、協和留館を開設、

るを開放することになった、総

制式の範囲をぐつと擴大して脚絆 になったものである も正式の国民服として認めること タンコを沿用し接靴を穿いて

(各聚店)(有) 注射用•內服用 學病院採用

横に置する質闘行事を一般に関する質問 半局の津水前々に選し の十二億倍署週開運動

郷田して町部の神給に、生蔵の瞬 多様に消費されてゐるが、この地 立てなければならないとき一人で 下資源こそ限に勝抜く爲に絕對的 光等、あらゆる延設面のお役立に 要しく出動、廿五日は明鮮演劇 き女事為員が得頭に織出て保然離断し、自此などの若 大日本婦人自員が擺淡も甲斐甲 期間中、京城では十三日金 廿四日は巡園張貞を交へた

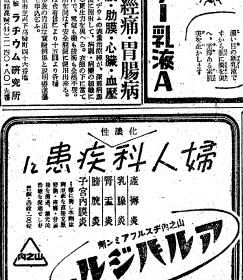
肌を

耐▲アメリ てみるとむしろ當然すぎるほど當じて三千九 など、以上各職役の観賞を樹起し

私のソバカス取ら話

元級航後一群で『地下資源を探る

脳の保健さんたちが街に馴染ん







東京電話」刻下の喫緊問題だる 蔵民服の氾濫 曹寅は朝六時五十八京原帰後で

るれ倒で血液腦はれず断油

摩鼠新頭手 発新重え で大圏・不し

日火干洞火华八十和晚

大多大山 大多大山 大田

起ちあがつた二千五百萬は、それ

の簡易化は冠嶽獺祭を陰楽化、屋

地面に挺身、消費 節約

版攻略街道を驀進、老いも若さも

随行、川本郷に、アツツ島玉路將 心のに物質愛護、臓品の更生利用

貯蓄弱化徹底に跳起して十二

m

た、この日院内はずつかり意思色

縮核思

負げじと制服後ゲートル委に服 が先輩の異体機保に指導されな 関じく動員された恩生塞仕隊も

女 が 大衛

政院 班院 株正總質終結ノ日迄体

會

京城市路南町二五

く等職ふ譲合の員の姿がまざ 運営の一綱を荷つ

高前級の意象を如實に炭帆して明 元しつ、歴史的議會の幕は緊迫せ がしてある。」の意識をはつきりと 帯した

人は一年六十萬人にも述するので 旅客憩ひの家 下關驛前に設く

れに飲店場、食堂、浴場を新設



部深 星製藥株式會社 **腺肺肋**胎 炎 锅 即 膜 指 征見炎核 日本鑛産株式

結核

記している。

防犯當番に手柄

天晴れ久保さんに近く表彰

時下乳尿のビタミン領絶に弱し て (金先駆削士) の範責、要花 高次の合呼、衛生吸責党多彩な 自然で都然の保証師と留い。 「人場位無料、多数の水場を稍 配してゐる

國語全解を目ざして京城府では龍

學校兒童十名も強準脈激に引奉さ

9

あ、そんな

同九時すを閉合した「温度」間流

た練器二百點を示にく海軍武官

廿日から國語全解開習會

樂映畫の夕 厚生講演ご音 だるの手機は大きいと置くて近

後に贈る豪語な器宴だ、地方場所

日午後八時から仁寺町郵路中央は十七、十八、十九の三日間、

数官で『厚生職演及び雷樂機雄の

宮豫邦宿宮に入るが、磯除一行は 午前十時京城即着入城、直ちに神 **予後三時十分寄贈で入城する**

ノ旦一で成ぶ年間乙女に寅の日本精神を「日岩」で成ぶ年間乙女に寅の日本精神を で就られが表で、これの日本時神を「な惨憺を施してゐる。殊の六月、明奮脳女母後では芳村模長の歐頭」木類線成を陰緩科目に入れて個量

祥明女學校で木剣錬成

が衝撃の大空に切え散る、こく辞しようと、詩神、勝力の耐蝦成を選びクニイツ・ヤイツをと淡竜の氣合「積素込み、勝ち抜く信念を密地し

勝ち

相撲窓系で挑脳する、一行中攻流

| 佐びて旅館の 町下に力士名の | 割

拔くの氣魄

る廿日(日曜)午前十時から態度、六日本液柱少年間の戦木部京勝道。 羊少年間負の側がでは、同盟本部があい、日春海 午後七時から原民戦大器堂で緩洒感を行び、小五日の東西・明から戦後、大日本液柱少年間の戦木部京勝道。羊少年間負の機が大路堂で緩洒が大行び航空関節が大井大津の時間。明少路を海豚・十四日は京城府海、曹を開催した **側記念映畫《朝鮮海峽》主流女優** の揺然大會は都合で延期、露々死

撮影大會照明

を開催する めて毎日午後七時から國語脳智會 聴衆に多大の威銘 民題校生徒

附近町宮の國語未解者五十名を集 一江関保殿で廿日から九月十日まで 日幕海軍少將の講演 を訪れて散納した「寓資=仁川國 赤誠の献金

門蜀へ寄せられた献金

餐八 通

當的信息求即法株 中四年 職途定 月 柳皮入 岳村碑 日 金龍 第立編 目 金金金金金金金

わさら新療法

進無

つちもいけなくなつちまつたよ

だまって、ひとり苦笑ひをしてゐ

くこいつはまだ館に用心してゐる つてゐるのを見たんだより 『いや、悪魔な・・・

ありがたうよ。以がさん。また 子か、脹は、一切攻

新利紹介的

声ながら、意は、ふと思る出し 東京・麹町・内幸町二ノ二東亞日東京・麹町・内幸町二ノ二東亞日

将る方面登前機

東門製作及修理 東門製作及修理 東門製作及修理 東門製作及修理 東門製作及修理 東門製作及修理 東門製作及修理 東門製作及修理 東門製作及修理 東門製作及修理

一十日差二日四日15日夜

肥を釣く南方威級に破破する真土

のことを思くば、これぐらのはな

と行いれた木剣を討たずはやまな

品

圓以

一割

お買物に債券抱合率決る

/排ふ、山木補碑に翻げ、アツ

十六日から貨施の十二位的路温期

上一哥、百國以上三哥、遊與五

消化促進

三のの記入

城』

仕の内 為修

國以上三個、五十四以上四個、社國宗滿一團、五國以上三個、社

なつてゐる

山、竹村阿先生指導の下にク炎糖大道に敷へる同校生五百餘名は木

三號型(十行)

古着頭

専門ノ丸安組へ協議 石炭 大映超大作
ない、大映超大作

甲斐計理事務所 華やかなる幻想

日本空無線

の製造光 電盤・ツチ)

地 上

耐

海洋精神 高橋大將け を鼓吹 京城で獅子吼

一消火ポンプー台を勝る

吾が

D

征

@ <u>=</u>

員募集

全部教すノアイト・旅館で大野和

全部殺すく

私の治療薬を教へる

(解語) (解語) (解語) (解語) (解語)

おり、サーイ』日の丸の間の柄も製けよとの間の柄も製けよと

(m)

平洋の誰てまで不被の勝利を職か 齊唱、腐骸を築唱して、開育式を 完備にあるのだ。と音対町10三1心をふるひ立たせてゐる一切空の完勝は何よりも既空資林の「てゐるとくもに、響街童」

兴华八平和腊

この會場では特に一般形成へも無するのであるが 原兵への離かしき前途のため激励 を半局同胞の前に披露して海軍志 館における問題演會は全群 萬、廣州警察署長の努力

海軍武官府へ献納

し隣々しく 儲しい 眼付だ

を送る磁器に燃えてゐる、

なほ大將は十九日釜川に赴き同 での大腿演會にのぞむことゝな

からは我も我もと持ち寄った製品

立として海軍武官府へこの日二分 は歌園のあるで形中

の朝鮮軍愛國部へ整機関統二合基 う織り 勤勞奉仕に よつて得た 一般物、さらに同盟の非盟家で

大相撲初日取組ま

七日から訓練院會場で開幕

掛として前級へ強る 演演などもあり、入災無政は発来

> 名は富城間が外三先生に引奉され 仁川昭和東國民學校兒童二百五十

て十五日朝入城、朝鮮神宮に参拜

龍江隣保館で

かったんだ。水に流してもらいてかったんだ。水に流してもらいて であういはれると、こつちも回目 であういはれると、こつちも回目 してあたもんでね。フロイスには





医学博士 白川 寛 京城元町一丁目一〇八 (元•平岡医院 師) 略話参山④1151



第四女優歌舞伎 関西女優歌舞伎

日川温泉ホテル



價藥 咖·贮公







さい…』数日数千の旗の波 極め光照町ニノ三三四國 山映館岩の 観楽を 皮切り 観波となって頻道を埋 殿、函 査 朝 THE STATE OF THE S 大いなる祭

[160]

三芳 中野

悌吉(繪) 實(作)

金號型(包行)

日本紙

背脳の男をやりすこして裏は云 『張さん、大丈夫だよ』

なに、馬鹿々々しい話なんだが、

と、豊は起上つて川下を指しなら、三四年前この先の

御飾り東局五二四番へ

イギリスの領事館ね

記者、美々の尽主さ、あの男が殺 一あすこの横で李鉞とかいふ新郎

あるが、なめに、あれは、館も思れたり、ひでえ目に遭つたことは なんでもこの界 番犬小帕な明

京畿道

陸軍航空戦記 女情 部 隊 上海航路

溶接劑、 SSP高速度鋼接

昭話東局(5)一三〇一

安中さん募集 中五歳前後の方 歌台 和経の方は

前駅城京 社會資音 **汽車**

建作

程 學品 達用御所養療人軍病傷各國 達用御院病社字十希学人各國 (内記本編出) 三十ノ三町倉大和山参 所曜出鮮朝藥製ユディ府別 第六〇二五・六五四二五間

別凶過勢者の必携難!

客 室 百 餘 室 有 報 室 百 餘 室 有 食事美味買買 全室ペスル) **安津市與電館二四三原名**

日曜 (シンテンシン) 日曜 (シンテンシン)

第八十二臨時議會成立

決戦半島の眞姿の影響が影命

形はざせたければならんといふこ

一類制成にやらうといふことで目

兩營團を創立 とに決定、こへに幽院はそれくし成立を告げ

戸少將補職

直 裏 を映起しつゝある最新難である。 を映起しつゝある最新難である。 を映起しつゝある最新難である。 各地製店にあり 、各種憂鬱症・疾物酔・必要とする時 微腎、夜間作薬、その他睡氣除去を過度の肉体及び精神活動時

國に國防 家庭に保険 國民貯蓄は保險から

保險契約總額 約七約 + 99

誓ふ決職

擬法朝鮮食糧管理令の総令案を年度内に資施することに決定、

製法特許!

上げは市、漁城北方地區住職に移行するや熊第十級額のでは間、織いて今回の江南作職を加へ質に合計立三個同世出席の大処が湖南の時に限られ勝介有の反文企順に完全に確保されたのである。

更に二個師を屠る

見事わぜ反轉の獲物

の名:層師、訂六個師六萬点鐵碗される海原となった、願みれば去る五月一日桐藤離戦殲滅が開始され、まづ集计九集商資を限めりのであるが、郷わわか民国に強ひ一部りもぶく消滅、かくて四日・ウル目に至る館か一郷間のうちに葡萄部験七十四、甘力、四十四のであるが、郷わわか民国に強ひ一部りもぶく消滅、かくて四日・ウル目に至る館か一郷間のうちに葡萄部験七十四、甘力、四十四のをあるが、郷もかかの挽回とデマ戦通に関いとが、第六戦略領は、から、おが各部隊は世日間が東原にした。第六戦略領はのの後回とデマ戦通に関いとが、第六戦略領はの後回とが、おが各部隊は世日間が東原にした。第六戦略の領は、

國語は常用こそ第一

ととしては一番重大な問題として一やうに単夜の先生とか面醤泡など

交景度 山名酒喜男 经对额 縣 科局長 鹽田正洪 临 电对图号 兵頭 临

山名文書課長一〇年特別

取扱ってなるわけである

催乳で造血

國民貯蓄の必成に御協力なされる皆様方の御後接によ り弊社の業績は倍々躍進し最近では ーケ月契約増加

國民貯蓄增强のため基礎磐石の弊趾の御利用を切にお となりました 勸め致します _ 五 _ 億 思想

紀段採用

弦れ胃腸病を癒菌の糖化力で食物

では、 なる事は誰でも知つ てるるが喫煙家は既 にニコチン中毒に罹 のでは、 ので を服用するとイーストルである。イーストルである。イーストルである。 なS。 に禁煙の断行ができ

作 なづく」のため煙帯 十五銭で薬店 『ラクトフラビンと 十四銭五圓三 に、イースト菌の含 イーストは愛煙家の に、イースト菌の含 イーストは愛煙家の スト菌の

臨居にあり 五十銭・一 円

煙草の毒を消す

肌に無刺戟な薬用 ともにそなえ、柔

不是死 殺菌力と除臭力を

どから…赤ちやん むせもやたられな のお肌を謎りませ らへんでは

0

ピルツ剤化

に留りて《と厳して十五日次に留りて《と厳して十五日次 う切望した。

あすから十二億攻略へ總進軍

輝く軍司令官賞

本社募集、健兵錬成の歌、賞状授與

『日の本の應差語ふ、錬成の若人

一額貯蓄

大戦生活を 此を契機として確立し管風の加きは之を全部貯蓄で進んで頂きたいを全部貯蓄で進んで頂きたいのであります。常に最場に在

質踐を强化

響訓練所増設 東京電話】野生省では企業整備

所(假語)が開設される、現在一ものと合せると五ケ所となる。 調練を箕施する東北國民璽が訓練なので新たに俄営市郊外に生れる **佰望の訓練所へ**

| 賞金の一部献金 既呼をすぶせて、

五日午前十一時から「府民戦小器 に對する質素能に質問規則式は十分在質量原鍵成の散了環及び作作

環分の 勝敗は日より 質にあり、流行水化清平建設事務所川原敷駅。長時あり「路湾金送報道部長は、本新崇集『健長衆成の歌』入賞書

鮮展の賞狀授與式

帝都の緊張に恥かしい半島

东だ一度も

戦ふ勤勞戦士が示す赤心

忠琬に随へて、征けぬ身を貯蓄的の散死、アツツ島に玉碎した問題を受けとつた人々は山本元

一校でも多くの歴教勝入に、貯蓄・ 東を同しんで 東を同しんで

全宮四瀬の百四以下は一調五分 ・ 二百五十國以下は一調五分 ・ 二百五十國以下は一國五分 ・ 五百國以下二國五分以上、 ・ 五百國以下二國五分以上、 ・ 五百國 ・ 五千國を憲える ・ の大側以上、

資増型に協力、酸ふ動質職士の赤

大の樂音を歌ふよいた風凉に心 -** 大公演 十七日。



けふの市況(主吾)

一午後等時廿分發の列車に採車、同 て同十一時過ぎ興職城東縣へ迎み・一般ちてし止まむりの氣酸をもつ 防諜寫聯理事會

國志

「大明の上は知ら盟下の前数部」。『土はこと 「」」なりより、に近少且の報復、道道に取らぬ、野歌いてお、屋等をみて同五階中財政が数との批准に取らぬ、東京により、「」と言り他作士既近別、歌在員の決と力能い容勢を必く、野歌いてお、屋等をみて同五階中財をした。

志願兵入所生壯行會

商議總會 [沙里區] 沙里

ものが見えるが、資公を

【170】吉川英治(作)

原从三星

情寫版古ヤ た。

花柳沃專明 道京

大学 (大学) 1 日本 (大学)



神会に

新東川小/大高雪大阪東洋ミシン1手販賣大阪東洋ミシン1手販賣

型,月 <

/城寶塚劇場 、穰 さたり型の衰弱を きたり型の衰弱を をとなつてがネー をとなってがネー をとなってがネー をとなってがネー ですう 現住で関力の 現化を とすう 現自の科學的 和共・廿八銭

母を吸び出

野村の投資信

託

部品蘇特婆頂浦ワツミ・北慶鮮朝 部品築橋本館石ワツミの京男

(-2 -

、近の単化に選進すべきを同く窓う を迎へてくれる。 五次といふ石川県出身の本間で構成された所生、「関地県校正に銀道運動の間に構成された所生」 は指導質の鮮か指揮で見事な鎌の認れもみせずきなくと答べて 靑龍靑年特別錬成隊を見る

C月O日 (第三日) 時れ、昨期基

での道学を確認していよく、単世教、京郷に郷東の毎郎を郷はレヤ我々、兵郷、人の心郷へを摂く、本年世報のの道学を確認していよく、単語教、京郷を譲りた五十年齢の採摘生が、り母となる総件なる既は道の《後祖 奥込む可き埋郷を維つて奪い。『兵・では繁弾した五十年齢の採摘生が、り母となる総件なる既は道の《後祖 奥込む可き埋郷を推つて奪い。『兵・では繁弾した五十年齢の採摘生が、り母となる総件なる既は道の《後祖 教堂の小郷を興び手にし、歴に、柳に帰道された常郎園観察を火匹、村の箕鷹を、わけて郷廷の《後祖 教授》の「他の箕鷹を、わけて郷廷の《後祖 大学院せざる後等をして今日わら)を目的として行はれたものだ、祖 を終へて帰るこれを非常が明めて、日本の大学には、「大学院せざる後等をして今日わら」を目的として行ばれたものだ。祖 を終へて帰るのを非常になった。

員記【朝鮮 ふ土の戯土の政験故跡を励察する。少額を出す、十八時、半日の放然、磁波の軽を上げるのであった。一 田特派と共に他方い恵蘭に威力学院を敬・事際つてか午後の各船歌練には少、頼むしき敬、次代の人よと斑点は田特派と共に他方い恵蘭に威力学院を敬・事際つてか午後の各船歌練には少、頼むしき敬、次代の人よと斑点は

漲る臨時議會

図 観代を散光なばならぬと取み が あるのの悪質によって大なる成果を得られ あるのの悪質である。 京本語風の 系統庁組織はかりでなく經濟、 宗統で人れ難風の理なる際風の で とした。 いて費ふことは非常に労鬼と常風 といて費ふこととは非常に労鬼とだ。 と思ふ。

**: 所生

加田

注南 日 鍼 止まむ JE#6